



こばやし かずゆき
小林一幸 議員

手話

手話言語条例の制定を早期に

「私の視点」

平成26年9月「手話言語法」制定を求める意見書を可決。その後動きがなく、今回町として「手話言語条例」を制定して、広く住民に認識してもらえる形にしていくべきだ。

答弁（町長） 条例制定に向け、非常に前向きに検討を進めていく

問 コミュニケーション支援の充実をどのように図っているのか。

答（町長）町としては①点字サービスの実施 ②手話通訳者の設置、派遣 ③手話奉仕員の養成研修の実施の3つの支援を行っている。

問「手話言語条例」制定の予定はあるのか。

答（健康福祉課長）条例の有無にかかわらず取り組むべきことをきちんとやればと思うが、町民の方の手話に関する関心を高めることができると思うため、条例の制定について非常に前向きに検討していく。

答（町長）共生社会の実現をしていくため、町民の自覚を促す意味でも条例制定は意味があると思っているので、非常に前向きに検討する方向で進めていきたい。

乗合タクシーたまりん再編に伴う利用者対応

問 廃止予定の高崎便の利用者への説明と対応状況は。

答（町長）高崎便の利用者は、ほとんどが高崎高等特別支援学校の生徒の方々であり、その他の利用者は、1日当たり1人にも満たないのが現状である。高崎高等特別支援学校の利用生徒については、8月に代替案についての保護者説明会を開催し、現在たまりんを利用して通学している全ての保護者の方にご了解を得ている。10月1日からタクシーを利用するの代替輸送を行う予定である。

災害時の要配慮者等の避難計画

問 要配慮者等個別避難計画の策定状況は。

答（町長）避難行動要支援者名簿に681名の登録があり、全員の計画作成を目指している。福祉専門職の協力を得て4件の「個別避難計画」が作成できている。

問 令和7年までに計画作成が間に合うのか。

答（環境安全課長）優先度が高い要支援者の個別避難計画は100件に満たないと思うので、作成を急いでいきたいと思う。

問 水防計画は見直しされているか。

答（環境安全課長）平成21年に作成してから改訂していない。1年以内に現状に合わせて改訂したいと考えている。



「手話言語条例」の早期制定を！



たかはし しげき
高橋茂樹 議員

農業

農業法人等の誘致はどのようになっているか

「私の視点」

五料・飯倉地区における土地区画整理地内の農地について、農業系の企業を誘致し、もっと活用するべきだ。

答弁（町長） 打診はあったが進出協議には至っていない

問 五料・飯倉地区における土地区画整理地内の農地について、農業法人等の誘致はどのようになっているか。

答（町長）令和3年度から検討や視察を重ね、令和5年度より五料・飯倉地区農地利用活性化検討委員会を設置し、農業系企業誘致も含めた今後の活用方針について検討し、農地利用活性化基本構想をまとめた。

本構想に基づく農業系企業誘致の状況は、現段階で1社から進出希望の打診があったものの、まだ具体的な進出協議まで至っていない。今後はさらなる企業進出の可能性についても調査しつつ、引き続きより多くの企業情報の収集を行う。その中で、今後、町への有益性が期待できる企業については、積極的なアプローチを行ってきたい。

玉村町の人口減少対策

問 子育て支援の観点からの人口減少対策は。

答（町長）子育て支援における町独自の取組として、第2子の保育料及び副食費の無償化や小中学校での給食費無償化を実施している。また、今年4月からこども家庭センター「こどもまんなかセンターにじいろ」がスタートしたことにより、子育て世代への相談・支援体制が強化された。子育て世代への情報提供手段としては、子育てに関する情報をまとめて冊子にした「子育てガイドブック」を作成し、周知を図っている。今後の取組としては、増大する保育ニーズに対

応するため、新たに保育所の誘致を進めていく。

小中学校におけるプール授業

問 今年の芝根小学校のプール授業はどのように行っているか。

答（教育長）玉村町B&G海洋センターを活用して実施している。

問 今後の小中学校のプール授業は。

答（教育長）今後の施設の老朽化等を考慮すると、学校のプールを維持していくことよりも自治体及び民間の施設等を活用して学校の水泳授業を行うことのほうが、より妥当な手段であろうとの認識を持っている。自治体及び民間プール活用の可能性について、喫緊の課題として解決に向けた方向性を探っていきたい。

こんな質問もしています

・消防団再編計画の進捗状況について



五料・飯倉地区の土地改良農地